
2015～2016 年度 会長・理事の方針説明

【会長】 前田 稔 君

今年度は、「会員同士の理解を深め、より絆の強いクラブ作り」をテーマに掲げたいと思っております。

私はここ数年、ロータリー歴の長い方と浅い方とのコミュニケーションがあまり取れていないのではないかと危惧しておりました。そこで、今年の例会の在り方の特徴として、会員スピーチをたくさん行いたいと思っております。内容としては、1例会で1人 10 分弱程度、3人の方に話して頂くように考えております。会長、幹事経験者以外の 30 数名の方に、仕事での成功談や失敗談、家族や趣味のエピソードなど話しやすい、また個性が反映されるようなテーマでのスピーチをお願いしたいと思っております。そのことによって、会員同士がよく理解でき、コミュニケーションが取れるきっかけになればと考えております。

インターアクトにつきましては昨年スタートしたばかりですので、これを会員皆様でよく理解して頂き、インターアクト独自の活動ができるようサポートして頂きたいと思っております。

社会奉仕活動に関しては、できるだけ多くの方に参加して頂くよう、お願い致します。

それから、今年度は音楽例会を 3 回ほど予定しております。これは今までとは違って、ご夫人にも門戸を広げたいと思っております。これは新年会の際にご夫人の同伴が少ないことから、ご夫人方に音楽例会に出席頂き、そこでまたコミュニケーションがとれて、それがクラブの活性化につながればと考えておりますので、ご協力をお願いしたいと思います。

一年間、どうぞ宜しくお願い致します。

【クラブ奉仕理事】 本田 徳光 君

1. 方針

ロータリークラブの原点である「クラブ奉仕」活動を会員全体で楽しく、充実した活動にしていきたいと思っております。

2. 活動計画

会長の方針である、ロータリー歴の長・短の両方の方々が楽しく、より融和して頂けるように、各委員会の方々のプログラムを計画していきたいと思っております。

3. 予算 1,238,000 円

【職業奉仕理事】 大隅 旭 君

1. 方針

ロータリー活動の基盤は職業奉仕の実践の上に成り立っている。このことをより深く各自が理解し、実践するための行動を進めていく。

〈ロータリー標準定款第 4 条の第 2 項〉

- ①職業上の高い倫理基準
- ②職業に貴賤はなく、役立つ仕事は全て価値があるという認識
- ③職業を通しての社会への奉仕

以上の指針の下に具体的な活動計画を立て、実行する。

2. 活動計画

- (1)「四つのテスト」の唱和
- (2)職場訪問
- (3)職業奉仕の理解を深める卓話、あるいは講演を開く。
- (4)社会奉仕部門と連携し唐八景公園などの清掃を実施。

これらの活動を通じ、全員で汗を流すことでの団結と職業奉仕の素晴らしさを理解してもらおう。職業奉仕委員会の活動を中心に、できるだけ多くの会員の参加を促す。

3. 予算 200,000 円

【社会奉仕理事】 井筒 亮平 君

1. 方針

国際ロータリーのテーマは「世界へのプレゼントになろう」です。プレゼントは、原文ではギフト”Gift”となっています。ギフトには個人の天賦の才能・知識・熱意という意味もあります。

社会奉仕委員会のテーマは「額に汗する奉仕をしよう」です。私たち誰もが持っていて、人に与えることのできるギフトを活用し、社会奉仕に役立てていきたい。また、委員同士が協力し、一人でも多くの方に実際の活動への参加を呼びかけ、実践していきたいと思います。

2. 活動計画

(1)社会奉仕委員会

- ・清掃活動(唐人景公園清掃の継続)
- ・ハンドベルコンサート及びサンタの集い
- ・ながさきゆうゆう牧場体験会の企画参加
- ・東日本大震災などへの支援活動
- ・新たなイベントの企画や参加情報を皆様から頂きたい。

(2)社会奉仕寄付金

- ・100万ドル食事による社会奉仕寄付

3. 予 算 610,000 円

【国際奉仕理事】 塚崎 寛 君

1. 方 針

国際奉仕についての理解を深めるために種々の情報を収集し、クラブ内への啓蒙活動を通して、当クラブとしての新しい国際奉仕の在り方を考える。そのための基金集めにも積極的に参加する。

2. 活動計画

(1)国際奉仕・米山記念奨学委員会

- ①23年間続いた純心聖母会のブラジルでの活動支援への資金的支援が終わり、当クラブの新たな国際奉仕活動を検討するため情報を収集し、また財団基金の活用を勉強する。
- ②米山記念奨学会を理解して頂くためのフォーラムの開催(米山月間)。一人当たり寄付1万円、米山功労者3名以上。

(2)ロータリー財団委員会

- ①永久的なポリオ撲滅のため、ポリオプラス寄付金目標 クラブで1,500ドル以上。
- ②財団に対するロータリアンの知識・参加・寄付を向上させるフォーラムの開催。
- ③ポールハリスフェロー約12名程度、ベネファクター1名の達成。

3. 予 算 75,000 円

【青少年奉仕理事】 今西 建夫 君

1. 方 針

青少年奉仕部門は2011年度に新世代奉仕という名称で独立し、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕とともに5大奉仕部門の一翼を担うようになりました。RIがこの青少年奉仕部門を、よりよい社会を構築するために重要であると認識したからにはほかなりません。

青少年奉仕委員会は次代を担う青少年の健全な成長の一助となり、特にリーダーシップを取れるような人材を育成するべく活動していきます。青少年奉仕にはインターアクト、ローターアクト、ライラ、国際青少年交換等の活動がありますが、今年度は青少年委員会とインターアクト委員会が一つにまとめられ、すべての青少年奉仕活動に委員全員が積極的に参加していく体制となりました。

特に2年目を迎えるインターアクトクラブは、クラブの活動が軌道に乗れるようその基礎作り、活動の助成に力を注いでいかなくてはならないと思っています。即ちインターアクトには現代に生きる高校生としてインターアクト活動を通じて、社会に貢献する喜びや楽しみを経験してもらえようようなプロジェクト作りを、また地区大会の青少年の集いに参加し国際交流、親善を深め、より広い視野を持って活動の場を広げて行けるよう支援していきたいと思っています。

2. 活動計画

- (1)ロータリーサンタ訪問、剣道大会、ライラ等への参加協力。
- (2)インターアクトクラブへの助成、例会への参加。

3. 予 算 741,000 円